

時田 かずいちろう通信

時田 かずいちろう
事務所

〒 916-0141 丹生郡越前町西田中2丁目606

電話：0778-34-2533

メール：fs-asahi@ebony.plala.or.jp

2024
5月号
Vol.4

目次

□ ご挨拶

□ 一般質問

Topic 1

伝統工芸産業の振興について

Topic 2

新幹線駅からの二次交通について

Topic 3

次世代への支援について

フルバージョンは QR コード
からご覧いただけます。

□ 活動ダイアリー

ご挨拶

Message

町民の皆様方には日頃より大変お世話になり、また福井県政発展に向けた活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。皆様の温かい支援により議員活動をさせていただくようになり早や1年が経ちました。定例会における一般質問や各委員会における審議、様々な要望活動や視察など全力で取り組んで参りました。少子高齢化による人口減少問題や産業の担い手不足や円安更にはエネルギー価格はじめとする物価高騰など、私たちを取り巻く環境は厳しい状況が続いております。皆様の暮らしが少しでも良くなるよう、また福井県そして越前町発展のために、これからも全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

所属担当 会派「自民党福井県議会」
産業常任委員会

時田 かずいちろう

Topic 1

伝統工芸産業の振興について

一般質問

時田 越前ものづくりの里プロジェクトはじめ、今年度までに伝統工芸産地の職人育成や観光誘客、販路開拓に関して、どのような成果が出ているのか伺う。

産業労働部長 令和4年度末まで9年間で67名を育成し、うち約9割が産地で就業していただいている、また産業観光イベントで来場者の満足度向上に努め、平成26年度に91億円まで落ち込んっていた生産額が、令和4年度末には110億円にまで回復しております。(答弁抜粋)

時田 令和9年度の伝統工芸品産地の入込数50万人という目標達成に向けて、今後どのような具体策を実施していくのか、知事の所見を伺う。

知事 例えばRENEWを通年化したり、専門ガイドを養成、旅行商品を作っていく、体験工房を整備していく、ショップも改装していただく必要があると思います。また、2次交通の充実、定額タクシーの利便性も上げ、産地全体を魅力的にし、東京のアンテナショップも活用しながら伝統工芸産地のPRに努めてまいりたいと考えております。(答弁抜粋)

時田 伝統工芸産地への訪日外国人の集客増加に向けて、ハード、ソフトの両面で今後どのような施策を行っていくか、所見を伺う。

産業労働部長 キャッシュレス対応の機器導入を事業者の方の自己負担なしでもできるように支援する制度を設けることとしております。また、首都圏からの送客について、六本木ヒルズにおいて、周辺の住民やホテルの宿泊者、コンシェルジュ、プライベートツアー会社等を招いて、伝統工芸品の展示販売会を開催し、魅力アピールし、東京から福井まで足を延ばすきっかけづくりを進めていきたいと考えております。(答弁抜粋)

時田 打刃物以外の伝統的工芸品も海外展開を強化すべきと考えるが、県内伝統的工芸品の輸出実績を伺うとともに、今後の販路拡大に向けた方針について伺う。

産業労働部長 海外のバイヤーを招聘してのマッチング、越境EC活用の伴走型支援、上海やバンコク事務所によって海外での商品展示や販売のサポートなどを行ってまいりました。さらに来年度は、県内事業者の関心も高い米国において県産品の展示販売を行うなど、今後も伝統的工芸品の販路拡大を支援してまいりたいと考えております。(答弁抜粋)

新幹線駅からの二次交通について

時田 県内バス、鉄道事業者において、交通系ICカードの導入はどの程度進み、どの程度のエリアをカバーでいるのか、新幹線県内開業時点の導入状況について伺う。

未来創造部長 路線バスは、京福バス、福鉄バス、全てにICOCAの導入が完了し、導入率は、北信越ではトップとなり、地域鉄道につきましては、福井鉄道、えちぜん鉄道は、令和6年度内に運用を開始できますよう鋭意整備を進めているところです。(答弁抜粋)

時田 敦賀駅から越前海岸を結ぶ「越前海岸かにかにツアーバス」は今後のニーズの増加も見込めるところから、期間を延長して通年実施とするべく、まずは実証実験を始めてはどうかと考えるが、所見を伺う。

交流文化部長 現時点では冬季ほどにはバスを利用する旅行者は、今すぐには見込みにくいという風に考えられます。足を運んでもらえる魅力的なコンテンツを増やし、様々な御意見もお聞きしながら、検討してまいりたいと考えております。(答弁抜粋)

次世代への支援について

時田 結婚、特に男女の出会いの応援については、十分と言えないのではないか。県の調査でも、約半数の若者が結婚に対する行政の支援が必要だと答えている。県が運営するマッチングシステム「ふく恋」のこれまでの成果について伺う。

未来創造部長 これまで、お見合いを約2,600件実施しており、42件の成婚に繋がっております。一方、会員の男女比、2対1と男性が多い状況で、女性会員を増やし機会を広げていきたいと考えております。また、縁結びさんというボランティアで結婚支援をしていただいている県民の方に、交際を開始した「ふく恋」会員の方にアドバイスを行うなど、伴走支援も強化し、支援を充実させてまいります。(答弁抜粋)

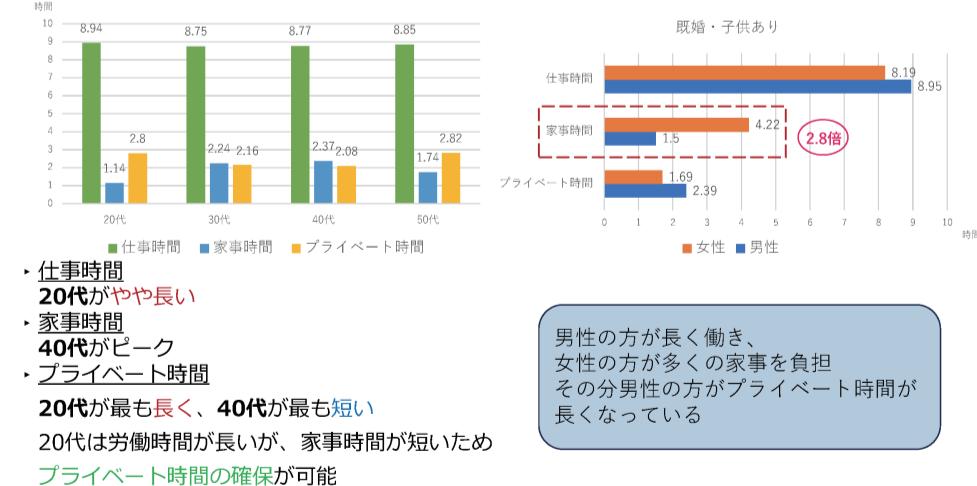
時田 若者の出会いを直接的に運営するマッチングアプリのほかにも、若者が出会いや結婚に前向きになるよう、若者の活動を金銭的な面で後押しする施策を実施すべきと考えるが、所見を伺う。

未来創造部長 トライアル予算を活用し、交流活動のための経費やイベント企画に対して支援をしたところでございます。昨年度188件のイベントが掲載され、2,000人が参加し、193件のカップルが成立しております。引き続きイベント情報の発信を支援し、若者が望む自然な出会いを拡大していきたいと考えております。(答弁抜粋)

時田 女性限定の早退デーのような、女性に特化して余暇時間を増やす福井県独自の取り組みを実施してはどうかと考えるが、知事の所見を伺う。

知事 福井県はこれまで女性活躍推進企業というものの登録拡大を図ってきており、これをさらに進めていく、それからまた、「かえるプロジェクト」といいまして、早く家に帰る、また家庭の中を変えていく、職場を変える、こういったことも進めさせていただいております。職場、家庭、それから地域、こういったものが一緒になってみんなで役割分担しながら、できるだけ女性がゆとりの時間を持つるようにしていく、そうすることで若い人たちも、結婚とか子育て、こういうことにも前向きになっていたいだけるんじゃないかなということで、誰もが将来に希望を持ち、チャレンジできる社会の実現を目指してまいりたいと考えております。

【現状】福井県立大学経済学部 令和5年度 飛田ゼミナール調査結果



1日の生活時間の配分 (都道府県、行動の種類別総平均時間 (15歳以上))

【仕事、家事関連等の時間】		
女性 (長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	福井県	7時間27分
2位	沖縄県	7時間23分
3位	長野県	7時間17分
4位	佐賀県	7時間15分
5位	島根県	7時間14分
	全国	6時間58分
男性 (長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	愛知県	6時間57分
2位	千葉県	6時間54分
3位	東京都	6時間50分
	滋賀県	
17位	福井県	6時間35分
	全国	6時間38分
男女差 52分		

【休養、趣味等の自由に使える時間】		
男性 (長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	北海道	6時間27分
2位	愛媛県	6時間17分
3位	大阪府	6時間9分
4位	福島県	6時間8分
5位	熊本県	6時間7分
47位	福井県	5時間28分
	全国	6時間
女性 (長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	北海道	7時間
2位	愛媛県	6時間58分
3位	徳島県	6時間57分
4位	山口県	
5位	和歌山县	6時間49分
35位	福井県	6時間26分
	全国	6時間34分
男女差 58分		

活動ダイアリー

